

奥利根のマイナーピークへ

## 奥利根 利根川割沢

昨年のお盆は利香さん田宮さんとススケ沢上部の湿原を目指したが、天候に恵まれずススケ沢出合に二泊して敗退した。今年も利香さんからお誘い頂き、ススケ沢上部の湿原へのリベンジ山行となった。直前で棚橋さんも加わり戦力UP。天気予報はざりざり持つかな？

8月13日(土) : 晴れ

矢木沢ダムから、奥利根マリンの高柳さんの船で渡船。ダムの水量が少なかったので心配だったが、沢の出合まで問題なく船で行けた。車は高柳さんが奈良俣ダムに回送してくれた。

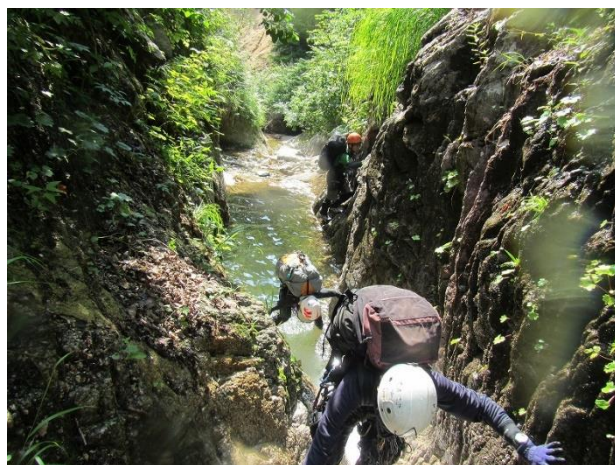


### 下部のナメにて

ゴルジュ帯を越えなければ幕場はなさそうだが、15時半を過ぎ、まだゴルジュ帯。少しだけ急がなきゃなと思い始めたころ、確認不足でお助け紐が途中で引っ掛かっていたのか、利香さんが掴んだお助けが動きその拍子に膝を打ってしまった。

かなり痛そうだったがそのままゆっくり歩いて頂き、ゴルジュ帯を過ぎた1450m付近で泊まった。

### 楽しくゴルジュを突破



### 【日程】

2016年8月13日(土)  
~16(火)

### 【メンバー】

田辺(利)(山)、田宮(RSSA)、  
棚橋、野口

### 【グレード】

3級

### 【地開図】

奥利根湖、尾瀬ヶ原、藤原

### 【記】野口

割沢の下部は、ナメが続き綺麗だ。歓声をあげ、写真を撮りながら遡行するが、暑くてなかなかペースが上がらない。

やがてゴルジュ帯に入ると釜を持った小滝がたくさん現れる。暑いので水に浸かるのも気持ちよい。

チョックストーンになっている場所が2か所ほどあり、高さはないのでロープは出さなかったが、小難しい。ほとんど棚橋さんに突破していただいたが、自分でも登れる場所もあり、楽しく登る。

## 8月14日（日）：曇り

ゴルジュ帯を過ぎた割沢は大きな滝も巻きもないが、利香さんは昨日怪我した膝が痛そうだ。しばらく歩くと、左上部に立派な岩峰が見える。岩峰から続く尾根の下に沿って赤倉岳につめるはずだったのだが、いつの間にか右に寄ってしまい藪に突入。GPSで位置を確認し左にトラバースをすると沢型が出てきて藪もない。上部は少し急だが、問題なく赤倉岳山頂の少し東の稜線に上がれた。荷物をデポして、赤倉岳の山頂へ。少し探して三角点を見つけ、奥利根のマイナーピークに登頂できた喜びをかみしめる。すっきり晴れていたわけではないが、尾瀬・越後の山々が綺麗に見えた。

デポした荷物の場所まで戻り、作戦会議。後半の天气が崩れそうなのとペースを考慮して、湿原めぐりはカットして奥ススケ沢から檜俣本流に下降することとする。



稜線を東に進み、赤倉岳とススケ峰の間のコルの手前から奥ススケ沢に下降開始。ほとんど藪漕ぎもなく沢型にたどり着く。滝もほとんどなく下降しやすい。本流に降りる手前で30m滝を懸垂下降、本流への出合で15m程懸垂下降をした。

出合から少し下ったところに平らな場所を見つけ、藪を仮刈り払いして幕場とした。

檜俣へ下降開始

## 8月15日（日）：曇り時々雨

昨日まで二日間歩きっぱなしで疲労も溜まってきた為、朝はのんびり出発とした。16日の天气が崩れそうなので、なるべく下まで降りておきたいところだ。

特にロープを出すようなところはなく、下っていくとススケ沢の出合に到着。去年停滞して2泊したところで休憩。ここまで来れば下部は去年来ているので少し安心。雨が降ったり止んだりする中を下降した。何か所か、幕場適地があったがなるべく下まで降りたいので通り過ぎ、矢種沢出合の少し上部に泊まった。

## 8月16日（月）：曇り

昨日、安全地帯まで来ていたので今日はほとんど林道歩きだけだ。矢種沢の出合で7人くらいの若者に会い、高柳さんから「車に着いたら連絡欲しい」との伝言を伝えて頂いた。

なぜ？ と思いながら、奈良俣ダムへの長い林道を歩く。暑さと長さに嫌気がさす頃、ダムの駐車場に到着。そこにはなぜか高柳さんの姿が。

車を回送していただいた際に、携帯電話を車の中に入れたままロックしてしまい、回収するために待っていたそうだ。そんな状況なのに、我々の為に冷えたスイカを準備してくれていた。

高柳さんの熊狸の話聞きながら食べたスイカは、長い林道でカラカラに干からびた我々には、今まで食べたどのスイカよりもおいしく感じられた。

## 【行程】

- 8/13 矢木沢ダム渡船(7:55)～割沢出合(8:30)～二俣(13:25)～Co1450m 付近 C1(17:10)  
8/14 C1(6:15)～稜線(11:42/48)～赤倉岳(11:53/12:08)～檜俣川源頭(13:50)  
～奥ススケ沢出合上部 Co1500m 付近 C2(17:35)  
8/15 C2(8:23)～中沢出合(10:50)～ススケ沢出合(11:31/12:12)～日崎沢出合  
(14:25)～矢種沢出合出前 Co940m 付近 C3(15:46)  
8/16 C3(5:50)～矢種沢出合(5:58/6:12)～(踏跡)～奈良俣ダム林道ゲート(10:46)

## 【感想】

この一ヶ月間、いろいろあって山から遠ざかっていた。

しかし急なエントリー希望にも関わらずリーダーの利香さんを始めメンバーが快く受け入れてくれたこと、家族が後押ししてくれたことなどもあり、とりあえず戻ってこれることができた。

以前から訪れたいと考えていた赤倉岳に、遡行してみたいと思っていた割沢から登れたことは嬉しかった。

それにしても奥利根は5年振りであったが、相変わらず快活であった。

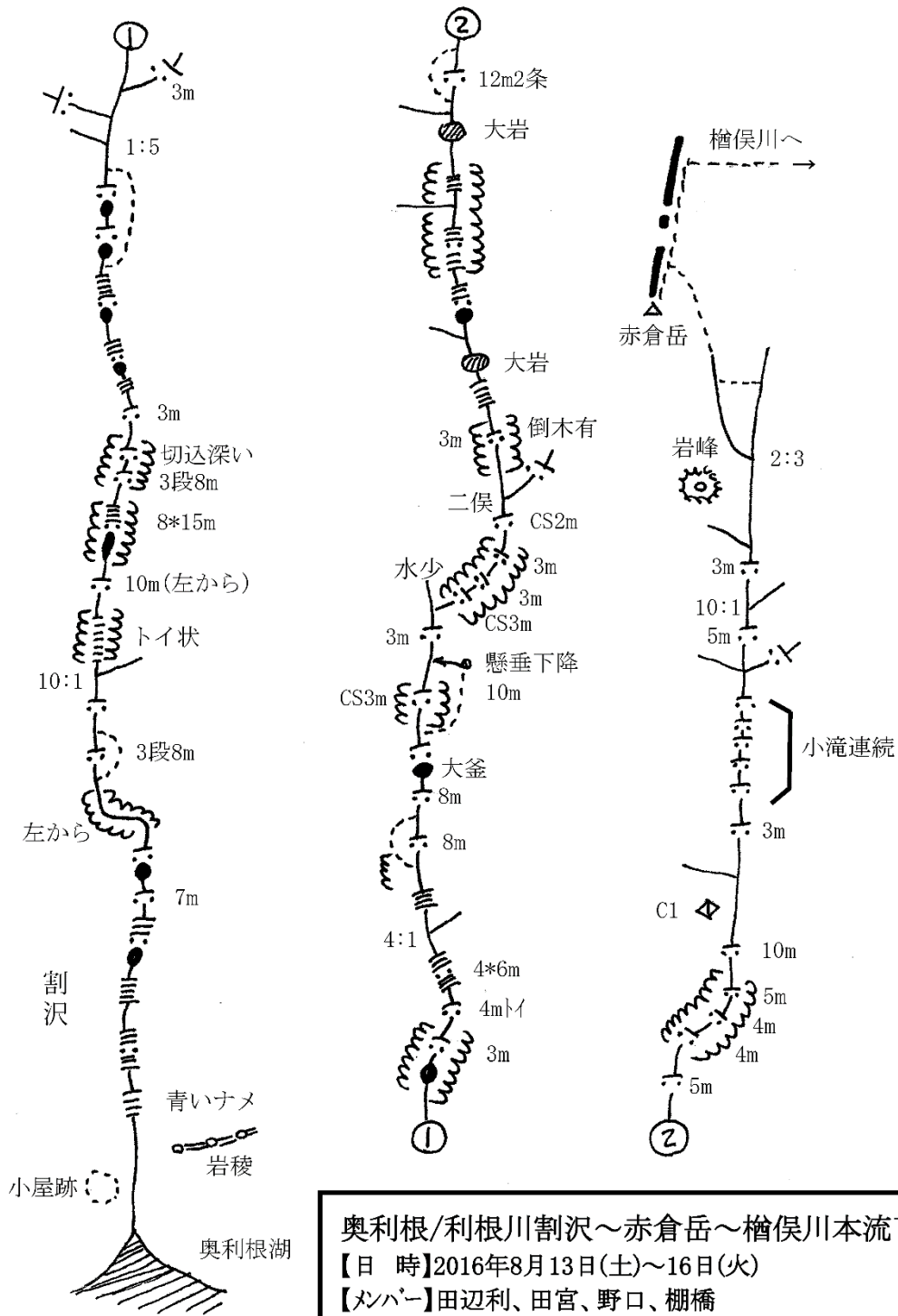
私を助けて下さった方々、そして奥利根の山と溪、それらを守る人々に感謝します。(棚橋)

去年のリベンジとなった奥利根の沢。湿原にはたどり着けなかったけど、たいへん充実した山行となりました。特に割沢は沢登りの楽しさが凝縮されているような遡行で大満足。

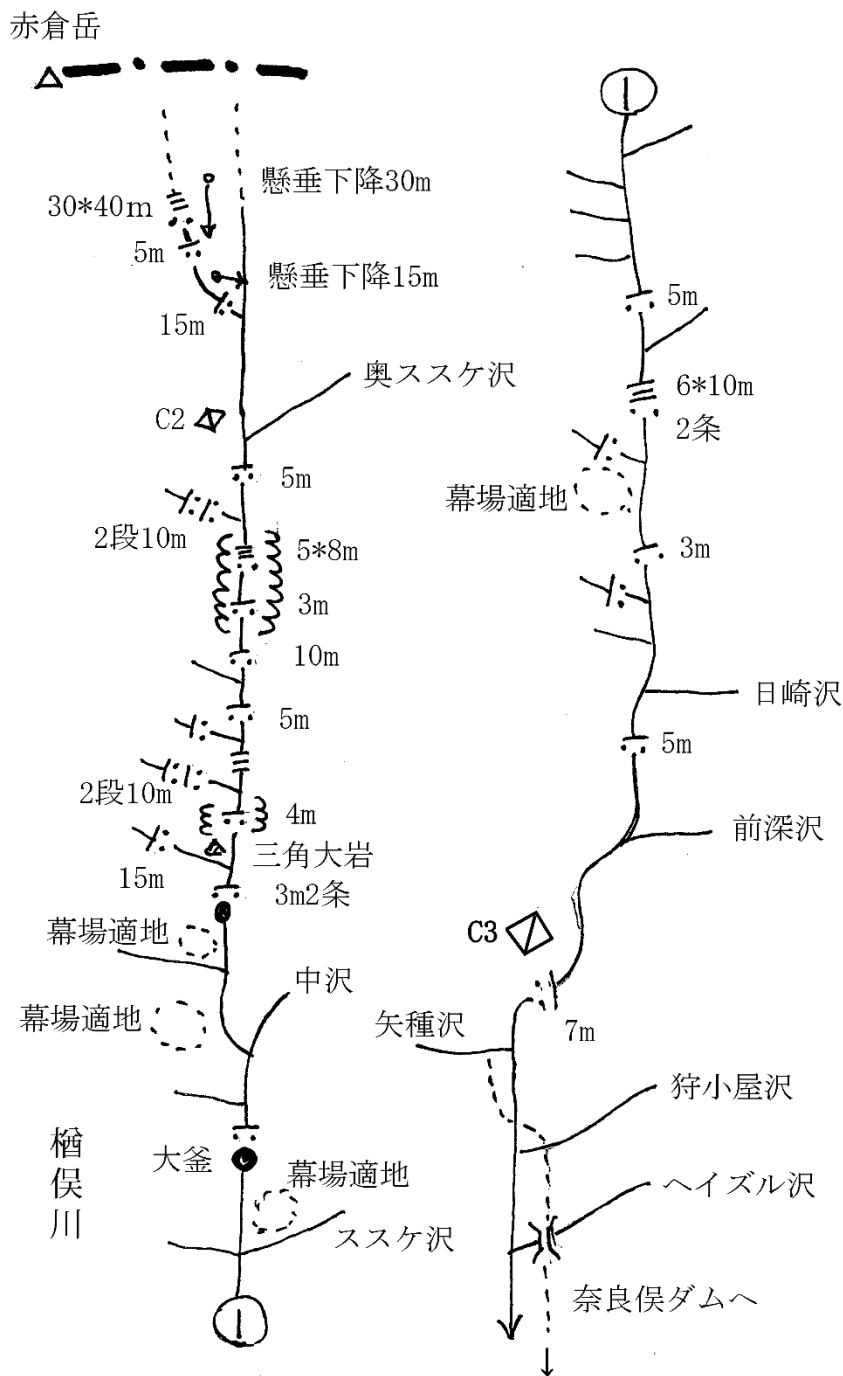
2年連続でお誘い頂いた利香さん、田宮さん、果敢なリードで道を切り開いてくれた棚橋さん、ありがとうございました。(野口)

ゲストで参加させて頂きました。2008年の夏に仲間と水長沢を遡行して檜俣を下った時(トマに入会前のじゅんぺい君がメンバーの1人)、立たなかった、赤倉岳の山頂に立てて満足しています。棚さん、野口君、リカさん、ありがとうございました。次は残雪期にスキーで行きたくて、赤倉の山頂では、雪が積もった山々を想像していました。(田宮 RSSA)

檜俣沢からのススケ沢湿原訪問が天候に遮られて4回未遂。割沢からのアプローチで湿原巡りと欲張りすぎたためか、膝打撲で檜俣沢下降となってしまった。奥利根の神さまへの信心が足りなかったのかな。同行メンバーに支えられ下山でき、感謝しています。割沢下流部の青い縞模様、小粒でピリリなゴルジュ帯、赤倉の稜線を吹く奥利根の風。気持ちよかった。C3での薪拾いでプチ遭難しました。夕暮れ前の森と沢にシュリング1本でどうすごそうかと心細く、まるでキツネに化かされたかと。思い切って滝を登ったら右岸に煙が！森の中での薪拾いはキノコ狩りと同じで注意しなければ。(田辺)



**奥利根/利根川割沢～赤倉岳～檜俣川本流下降**  
**【日時】2016年8月13日(土)～16日(火)**  
**【メンバー】田辺利、田宮、野口、棚橋**  
**【作図】棚橋**



**オリ根/利根川割沢～赤倉岳～樽俣川本流下降**  
**【日時】** 2016年8月13日(土)～16日(火)  
**【メンバー】** 田辺利、田宮、野口、棚橋  
**【作図】** 棚橋